

建通新聞

神奈川

発行所 建通新聞社

川崎市

3次元測量 実習を開催

川崎市は等々力球場を利用し3次元測量実習を開催した。市の職員や共催を務める神奈川県測量設計業協会川崎支部(江崎一馬支部長)の会員ら約50人が参加した。

開催に当たり建設緑政局の箕輪秀生技術管理課長は「市内のICT施工実績は大変少なく、これから進めなくてはいい施策だ。今後もICTの知識を深める取り組みを推進していきたい」とあいさつ。

次いで江崎支部長は、「適材適所のICT機器を使用しないと、ICTの効果を最大限に発揮できない。講習会など一同が集まることで見えてくる課題もあるので、集中して取り組みたい」と意欲的な姿勢を見せた。当日は構造物の多い市街地で役に立つ地上型レ



UAV測量についての説明の様子

ーザースキャナ、ドローンなどを使用した広範囲の計測に適したUAV測量、車上に搭載し道路の長距離計測で効力を発揮するMS測量の、3クラス3班に分かれて実演による講習を行った。

3次元測量は国土交通省の推奨する働き方改革などに寄与し、ICT施工などの推進に必要となる。